

1 審議会名 図書館協議会
2 日 時 平成 27年 9 月 30日 午後 6時 30 分から午後 8時 30 分まで
3 会 場 上田情報ライブラリー
4 出席者 中澤会長、新山副会長、山崎委員、大塚委員、小竹委員、加藤委員、
5 市側出席者 山崎館長、石井館長、山口次長、土屋次長、木嶋次長、土屋係長
6 公開・非公開等の別 (公開) ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者 3 人 記者 1 人
8 会議概要作成年月日 27年 9月 30日

協 議 事 項 等

- 1 開 会
館長挨拶 年度中間での開催で遅くなりましたが、よろしくお願ひしたい。
人事異動により市側職員自己紹介
- 2 会長挨拶
これからの図書館は、社会の変化に対応していかなければならない。図書館が好きだという市民目線の立場から少しでもよりよい図書館の今後を考えていかなければならないので、よろしくお願ひしたい。
- 3 協議事項
上田市の図書館基本構想について(説明)
実施計画では図書館整備構想が平成27年度・平成28年度認められましたが、委員報酬の計上が財政的に認められなかった。
大きな流れとしては、上位計画として第二次上田市総合計画の中で生涯学習の方向性を決め、生涯学習基本計画の中で総合計画を具体化したものを載せていき、図書館の方向性を決めていく、詳細については図書館基本構想の中に盛り込んでいく。
本日が議会最終日の為、第二次上田市総合計画については、議会において認められました。生涯学習基本構想策定委員会の第1回目は昨日開催された。進捗状況を見ながらハード面・ソフト面での図書館基本構想についても進めていかなければならない。平成28年度の実施計画調書を提出してあり委員報酬の予算が付いたら、図書館協議会の委員の皆さんに策定に携わっていただきたい。
(基本的な確認事項の質問)
(委員質問)
生涯学習基本構想と図書館基本構想で同時期にそれぞれの策定となっているが、すり合わせはするのか、内容に不具合が生じないか。
(事務局)
生涯学習基本構想に沿って策定する図書館基本構想ですので、生涯学習基本構想策定の進捗状況にあわせて行っていきます。
(委員質問)
生涯学習基本構想策定委員と、社会教育委員とは同じメンバーなのか。
(事務局)
社会教育委員も含めて外部からも同じぐらいの人数が加わっている。

子ども読書活動推進計画の今後の進め方について

上田市の同推進計画は平成26年2月に作成されました。平成13年に国の法律の策定を受けて、県の子どもの読書活動推進計画の策定に伴い市町村も策定することとなりました。上田市の場合につきましては、現状を策定内容とし、家庭・地域、図書館、学校、幼稚園・保育園の4つの

立場からまとめてあります。これから同推進計画を進めていくにあたり、子ども読書活動推進懇話会(仮称)を設置要綱で定め、それぞれのお立場での活動内容について情報交換し、見直し検討しながら、連携を深めることが読書活動推進に繋がるのではないかと考えております。このような進め方でよいのかどうなのかも含め、ご意見を頂きたい。

(委員質問)

教育委員会で同計画を策定後、教育委員会では検証はしていないのか。

(事務局)

推進計画の原案を生涯学習課で策定する場合もあり、図書館で策定する場合もあります。上田市の場合は、図書館で原案作成をしている。検証については、原案を策定した図書館でしなければならないと考えているが、現状ではしていない。

各館の利用状況説明

上田市全体...資料により説明

貸出冊数の分野別利用について一般図書・児童書が多い。

年代別の利用については小中学生で利用し高校生では利用が少なくなりまた社会人30才代になり増え年代が高くなるにつれ利用が増えている。

各館により、時間帯別の利用人数により利用傾向がわかる。

貸出冊数は減少してきている、一人当たりの貸出冊数も減少。

上田市全体で1日50冊多く貸出すれば前年並みとなる。

上田図書館...資料収集整理保存、前年並みに行っている

リサイクル市の開催10月に上田図書館、12月に創造館分室開催予定

10月には貴重資料紹介展を開催・講演会を同時開催、音楽の分野で予定

ブックスタート事業、音訳ボランティア養成講座

集団への読み聞かせ講座(10月)・セカンドブックの講座(10月)

情報ライブラリー...暮らしとビジネス支援、千曲川関連事業、市民協働事業

今年度は真田丸関連事業を開催、講座は盛況、全体で年間195回開催。

上田を知り、歴史を知り、上田の風土を知る文化人シリーズで上田の郷土愛を育む、地図を読み解く、各年代の歴史や暮らしを探る。

レファレンスの数の減少は、簡単なレファレンス回数は入っていないため。

文部省の調べ学習、データベースの利用者が増えてきている。

土日の諸証明の発行・トンネル通行券の発行が増えている。

利用者数、貸出冊数は減少傾向にある。

丸子図書館...開館してまる3年。

特設展示に力を入れている。丸子地域自治センターだよりの中で図書館だよりを発行、有線でライブラリーアワーテレビ出演しながら本の紹介。上田女子短期大学との連携事業として、学生のイベント企画参加。図書館祭りに移動図書館車あおぞら号展示。貸出数も増加。

真田図書館...市民協働事業が特徴。今年度は、真田丸関連資料を集めていきたい。

ブックスタート事業、歯科検診に職員が読み聞かせ、夏休みの読み聞かせ職員が4回開催 定着してきている真田塾の講座4回開催、桂木恵さんを迎え5回目鉄道関連で開催予定。おはなしひろばは5ボランティアで開催・図書館まつり12月予定・館内案内・修理・内外の美化活動・コンサート(2回)・餅つき大会12月予定。図書館ボランティア養成講座。菜園講座。星空コンサート8月実施。

(各委員の意見)

利用者の多い時間帯はどんな年代の利用者が来ているのか。

(事務局)

お子さんの場合は、本人が借りたかどうかわからないところがある。たとえば赤ちゃんから登録できるので保護者がお子さんのために、お子さんのカードで借りる場合もある。

(各委員の意見)

読み聞かせの際は、人数はどのくらい来ているか

(事務局)

情報は、日によって違う。ゼロの場合もまれにある。

丸子は 10 人等です。夜のお話を開催した。

(各委員の意見)

登録者数が増えているのに、貸出冊数が減っているの、関連性はどうか。図書の購入はどうしているか。

(事務局)

現在、登録者数が、実際に利用している数と一致していない。利用者カードの更新制が始まり実数に近づいてくると思う。登録者数は、少なくなると思う。図書の購入については、各館で予算要求し、各図書館の判断で図書を購入している。上田市全体で 2993 万 6 千円である。予算を増やすのは難しい。

(各委員の意見)

たとえば、情報ライブラリーの午後 6 時から 8 時の時間帯のように、利用者が少ない時間帯は、閉館にする考えはあるか。

(事務局)

情報ライブラリーの場合のように、学生の学習利用や、仕事帰りの方の利用がある、数字には表れない利用者がいる。今のところは時間帯を短くする考えはない。

(各委員の意見)

個人で図書館を開設している方がいる。こういう方も、子ども読書活動推進懇談会委員にどうだろうか。

(事務局)

個人で図書館を開設している方の情報が、つかめていない。子ども読書活動推進懇談会委員には検討していきたい。委員さんからも情報提供をお願いしたい。

(各委員の意見)

閉架している書庫にある貴重な資料などを、市民に公開するようなことはできないか。たとえば、書庫を見学するようなことはどうか。

(事務局)

閉架書庫の書籍も、インターネット検索ができるようになってきた。またいろいろな方法を検討していきたい。

(各委員の意見)

図書館のホームページが、地味である。インターネットで見るケースが多いと思う。

(各委員の意見)

情報ライブラリーの 2 階大会議室は学生の学習に開放しないのか。

(事務局)

2 階会議室は貸館スペースなので、図書館で開放することはできない。

(各委員の意見)

館長公募についてはどうなったか。

(事務局)

公募は情報ライブラリーの館長についてであり、公募するにはどういう目的で、どんな図書館にしたいかがないと決められないことなので、今のところ方針が決まっていない。図書館基本構想の中で館長公募についても盛り込んでいきたい。白紙の状態である。

* 会議概要は原則として公開します。会議終了後、1 週間以内に行政改革推進室へ提出してください。

* 非公開及び一部非公開としたものについては、その理由を記載してください。